



倉敷市芸文館 開館1周年記念  
中国二期会オペラ

魔笛 全二幕

W.A Mozart  
Die Zauberflöte

1994



本日は、オペラ「魔笛」の公演にご来場くださり、まことに有り難うございます。中国二期会は昭和48年に二期会中・四国支部として設立し、それ以来、各方面の暖かいご支援により、「魔笛」、「フィガロの結婚」、「コシファントゥッテ」、「カルメン」、「こうもり」、「ヘンゼルとグレーテル」、「夕鶴」、その他、数々のオペラを上演し、地域文化向上の一翼を担ってまいりました。

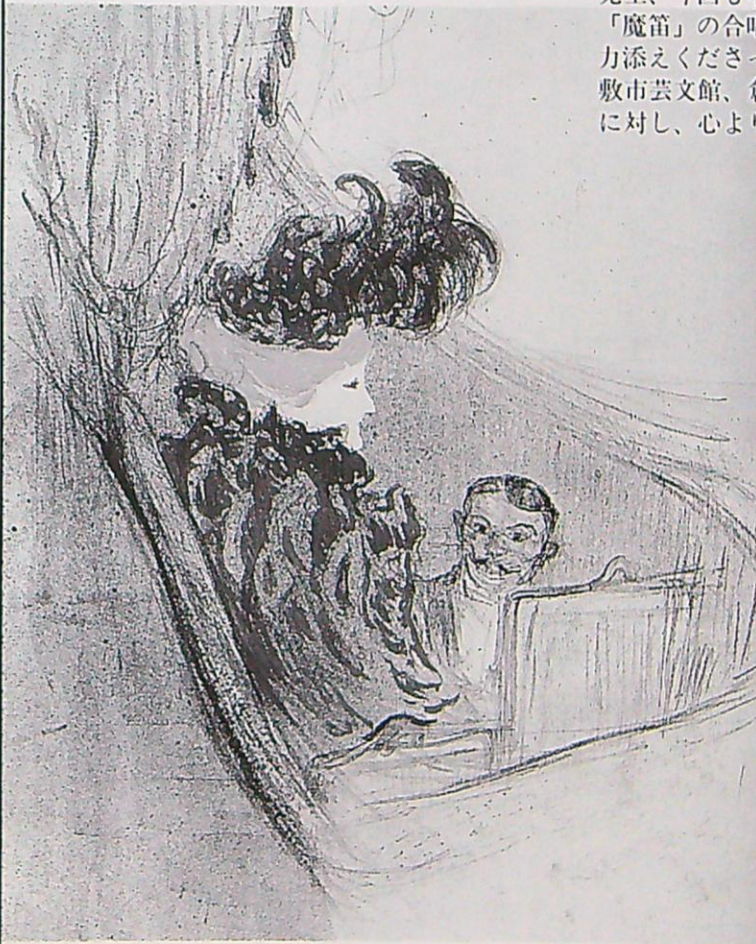
本日、上演いたしますオペラ「魔笛」は、今から13年前の昭和56年に中国二期会初のグランドオペラとして、倉敷管弦楽団の協力を得て倉敷市民会館で上演しておりますが、今回の「魔笛」では、出演者は一部を除いて大幅に入れ変わり、指揮と演出は中央オペラ界の第一人者で新進気鋭の時任康文・中村敬一両氏のお力をお借りしています。

今回の「魔笛」には二つの特徴があります。一つは近県在住の優秀な男声の歌手を客演として迎えていることです。そのことで、中国二期会の出演者一同、大きな刺激を受け、大変充実した稽古になりました。二つは倉敷管弦楽団並びに合唱団のメンバーの過半数が倉敷市在住の人々によって編成されていることです。

総合芸術であるオペラは、私たちに素晴らしい喜びを与えてくれますが、その公演には、多くの人、多くの時間、そして広い稽古場が必要なため、びっくりするほどの費用が掛かります。このことが長い間オペラ活動を続けてきた私たちにとっての大きな悩みでした。それゆえ、このたびの「魔笛」が「倉敷市芸文館開館一周年記念公演」として倉敷市文化振興財団に取り上げられ、絶大なるご支援をいただいたことに対し、関係者一同、感謝の気持ちで一杯です。

最後になりましたが、本市公演にあたり、熱心にご指導くださった諸先生、今回も中国二期会の公演を支えてくださった倉敷管弦楽団の方々、「魔笛」の合唱を快く引き受け参加くださった各合唱団の方々、陰でお力添えくださったスタッフの方々、そして練習会場を提供くださった倉敷市芸文館、倉敷ライフパーク、倉敷西小学校、遍照保育園の関係各位に対し、心より厚く御礼申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

中国二期会理事長  
大原 正義



'94 11/12<sup>(土)</sup> PM6:30 / 13<sup>(日)</sup> PM3:00  
倉敷市芸文館

主催・財倉敷市文化振興財団/倉敷市/中国二期会/OHK 岡山放送  
共催・倉敷市教育委員会

# 11/12



台 本 ————— Emanuel Schikaneder  
 作 曲 ————— Wolfgang Amadeus Mozart  
 総 監 督 ————— 大原 正義  
 指 揮 ————— 時任 康文  
 演 出 ————— 中村 敬一  
 美 術 ————— 小林 優仁  
 衣 裳 ————— 磯野 祐子  
 照 明 ————— 稲田 道則 (篠本照明)  
 音 響 ————— 小野 隆司  
 舞台監督 ————— 本城 繁治  
 舞台監督助手 ————— 橘 裕子  
 副 指 揮 ————— 大塚 博  
 合唱指揮 ————— 田中 浩・平尾 嘉克



## CAST



ザラストロ ————— 大原 正義  
 タミーノ ————— 平田 孝二 (客演)  
 弁 者 ————— 田中 雅純 (四国二期会)  
 僧 侶 I ————— 渡邊 均  
 僧 侶 II ————— 川西 顕  
 夜の女王 ————— 安原裕美子  
 パミーナ ————— 高橋 昌子  
 侍 女 I ————— 神野 靖子  
 侍 女 II ————— 矢内 淑子  
 侍 女 III ————— 小松原知代子  
 童 子 I ————— 岡野 恭子  
 童 子 II ————— 康広美千子  
 童 子 III ————— 塩出 真弓  
 パパゲーナ ————— 清水 史子  
 パパゲーノ ————— 三木 伸哉 (客演)  
 モノスタス ————— 晴 雅彦 (関西二期会)

合 唱 ————— 倉敷市芸文館開館一周年記念合唱団

管 弦 楽 ————— 倉敷管弦楽団





## ■作曲・初演

作曲は1791年春、たぶん5月ごろからシカネダーの依頼でとりかかり、7月までに大半を書きあげたあとに「ティトゥスの慈悲」の仕事がはいり、それを9月6日にプラハで初演の後ウィーンにもどって月半ばから仕上げにとりかかり、9月28日に完成。9月30日、シカネダーの経営するウィーンの下町の民衆劇場（フライハウステアター・アウフ・デア・ヴィーデン）で、作曲者の指揮で初演されている。そして、回を重ねるにつれて評判を高め、翌1792年11月には上演回数100回に達し、財政的に苦境にあったシカネダーの立ち直りにも貢献した。

日本人による初演は、1913（大正2）年帝劇歌劇部が6月興行の中幕に約1時間に縮小したものを来日したばかりのローシーの初演出で取り上げている。全曲の初演は、1953（昭和28）年3月28日、日比谷公会堂でグルリット・オペラ協会によって行われた。

## ■あらすじ

ときは古代、ところはエジプトのイージスとオジリスの神殿とその近く。

序曲（変ホ長調、4分の4拍子）は、全管弦楽による3つの力強い和音に開始され、十数小節後にはフーガの形をとった輝かしいソナタ形式の主要部アレグロへと突入する。3つの和音は展開部の冒頭でまたくり返されるが、これはフリーメーソンが標ぼうした「自由・平等・博愛」の3つを象徴したものと解され、劇中の音楽からこの名高い序曲に使われた唯一のものにもなっている。

第一幕の最初の場面は森の入口で、森に迷いこんだ異国の王子タミーノが大蛇に追われて逃げてきて、気を失って倒れる。そこへ現われた夜の女王に仕える3人の侍女たちがその大蛇を殺し、3人ともタミーノに魅せられて口々に自分がここに残ると言い争うが、結局だれも残るのをやめて3人連れだって夜の女王に報告に向かう（以上第1曲・導入部）。そこへ鳥刺しのパパゲーノがパンの笛を吹き、民謡ふうの歌をうたいながら現れる（第2曲、アリア）。正気にもどったタミーノに、大蛇を退治してくれたのはそなたかと聞かれたパパゲーノは、ついさうだとうそをついてしまう。ところへもどってきた3人の侍女たちは、うそをついた罰としてパパゲーノの口に鍵をかけ、タミーノには夜の女王の娘パミーナの絵姿を渡す。

絵姿を見たタミーノは、それに一目ぼれしてしまい、はげしい思慕の情を歌う（第3曲、アリア）。それを見て侍女たちは、絵姿の主がだれであるかをタミーノに教え、そしてかの女が今ザラストロなる者のところに捕らえられていると告げる。

雷鳴のとどろきとともに夜の女王の出現となる。そして娘のパミーナをザラストロに奪われた母親の嘆きを述べ、もしもタ

ミーノが救い出すことができたならば、妻として与えることを約し、かれを激励して消える（第4曲、アリア）。

一身を犠牲にしてでもパミーナ姫を救い出そうと決意したタミーノに、侍女たちは身を守る魔法の笛を与え、その供として従うことになったパパゲーノにも、口の鍵をはずしたうえで魔法の鈴を与える。また、3人の童子が現れて、かれらの道案内役をつとめるであろうとも告げる（第5曲、5重唱）。

場面は変わって森の奥。ザラストロのもとから逃げだそうとしたパミーナ姫を、膚の色だけでなく腹の中まで真黒なムーア人の奴隷い頭モノスタスが捕えて手ごめにしようとするが、ちょうどそこへパパゲーノが忍び込んできて鉢合わせとなり、おたがいにその異様な風体に驚きあい、パパゲーノはすわりこみ、モノスタスは逃げ出してしまう（第6曲、3重唱）。

気を取り直したパパゲーノは、自分がタミーノとともに娘を救い出しにやってきたことを告げる。それから2人で愛のすばらしさをたたえ、タミーノを探しに出かけることになる（第7曲、2重唱）。

その間タミーノのほうは、侍女たちの予言どおり三人の童子の導きによってザラストロの神殿の門の前まで来ていた。タミーノが門の中にはいろうとすると、内から制止の声がかかり、やがて門の中から弁者（原曲第1の僧侶）が出てきて、タミーノとの1問1答のうちにザラストロが夜の女王らの言うところとはだいぶちがった人物であるらしいことが明らかにされていく。弁者が去ったあとひとり残されたタミーノは、パミーナの生存を告げる神託の声に力づけられて魔法の笛を吹くと、森の中の動物たちが出てきてその妙なる響きに耳を傾ける。この笛の音はかれを探し求めるパパゲーノとパミーナをも引き寄せるのであるが、その前に奴隷たちを引き連れたモノスタスに追いつかれてしまい、パミーナがまたつかまってしまう。そこでパパゲーノが魔法の鈴のことを思い出し、それを鳴らすと、モノスタスとその手下たちは鈴の音にうかれて踊りだし、パミーナのこと、パパゲーノのこともすっかり忘れて踊りながら退場してしまう。ところへラッパと太鼓がひびき、合唱がわきおこってザラストロの一行の登場となる。ザラストロの正体は徳の高い聖者であった。そしてパミーナを邪悪な母親のところからここにかくまっていたことも明らかになる。モノスタスががてら顔をしてタミーノを引たててくるが、すべてお見通しのザラストロは、モノスタスがパミーナを手ごめにしようとした罰としてむち打ちの刑だという。初めて出会えたタミーノとパミーナは喜びあうが、2人が結ばれるまでにはいくつもの試練を受けなければならぬとザラストロに教えられる（以上第8曲、フィナーレ）。

第2幕はザラストロが会議を開き、他の僧侶たちにタミーノに試練を受けさせることについての賛否を問うているところで



始まる（ト書にはヤシの茂る森の中でとある）。全員それに賛成し、オジリスの神への祈りを捧げる（第9曲、僧侶たちの行進と10曲・合唱つきのアリア）。

タミーノとパパゲーノはまず無言の行を課せられる。2人の僧侶（原曲では第2の僧侶と弁者）がかれらをはげまして（第11、2重唱）去ったのと入れかわりに、夜の女王に仕える3人の侍女が現れ、こんどは誘惑にかかるが、意志強固なタミーノにはそのきき目がなく、パパゲーノだけがひっかかりそうになる（第12曲、5重唱）。

場面は変わって庭園の場となり、月光のもとでパミーナが眠っているところへ、またもやモノスタスが忍び寄ってキスをしようとしているところへ（第13曲、アリア）、雷鳴がとどろいて夜の女王が出現し、短剣をパミーナに与えてザラストロを殺すように命じる（第14曲、アリア）。女王が消えると、モノスタスはパミーナの手から短剣を取りあげ、いやらしく言い寄るが、そこへザラストロが登場して追い払う。

ザラストロは、母親を罰しないようにと懇願するパミーナにヒューマニズムを説く（第15曲、アリア）。

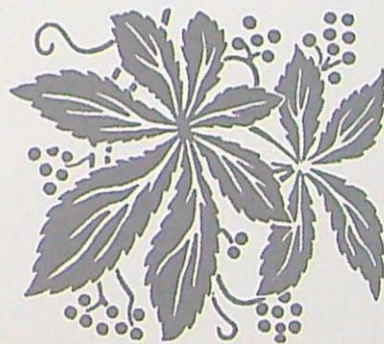
ふたたび場面が変わって奥の院の大広間でタミーノとパパゲーノが第2の試練を受けているところが描かれる。タミーノはあいかわらず無言の行を続けているが、パパゲーノのほうはもう我慢が限界にきている。そこへ老婆が現れてパパゲーノとたあいのない対話をかわし、雷鳴とともに老婆が消えると入れかわりに3人の童子の登場となる。童子たちは魔法の笛と鈴を返しかたがたご馳走も運んでくる（第16曲、3重唱）。タミーノの吹く笛の音にひかれてパミーナかやってくるが、なおも無言の行を続けるタミーノを自分への冷淡と誤解し、失望落胆する（第17曲、アリア）。

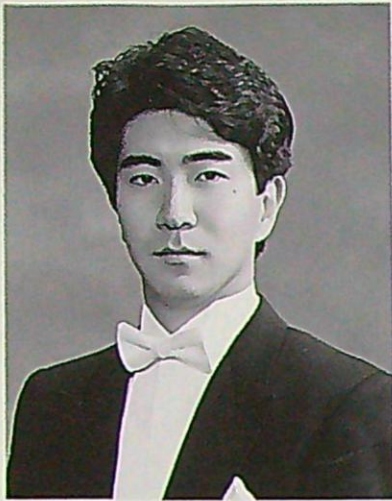
ここでまた場面が変わり、神殿の中（ト書によれば地下室）で僧侶たちがイージスとオジリスの神をたたえているところへ（第18曲、僧侶たちの合唱）、タミーノとパミーナが登場、タミーノはあと2つの危険な試練を前にしてザラストロからはげましのことばを受け、パミーナに別れを告げる（第19曲、3重唱）。

かれらが退場したあとへ、パパゲーノがタミーノを探しながら現われ、僧侶（あるいは弁者）から好物の酒を与えられ、一杯きげんで鈴を振り振り歌いだすと（第20曲、アリア）、そこへ

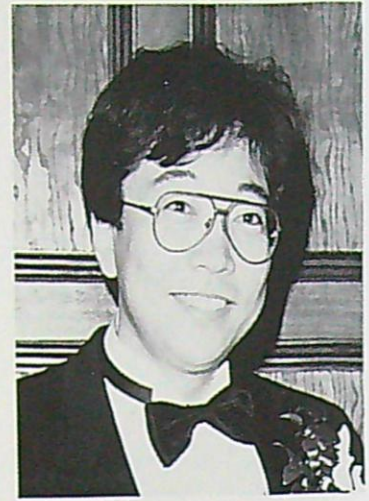
例の老婆がまた出てきて結婚を誓わせられる。誓うと同時に老婆は若い女鳥刺しのパパゲーノの姿になり、パパゲーノはそれを抱こうとするが、僧侶（あるいは弁者）に制止される。

再度庭園の場面となって、絶望のあまり自殺しようとしたパミーナが3人の童子からタミーノの本心を教えられて気を取り直し、タミーノのもとに2人で最後の水火の試練を受けるべく急ぐ。その試練も、魔法の笛の力を借りて無事に通過する。一方パパゲーノと結ばれるのに待ったをかけられたパパゲーノのほうは悲しみのあまり首を吊ろうとするが、そこへ3人の童子が現れて教えられるままに魔法の鈴の力を借りてパパゲーノを呼び寄せることに成功、あらゆるオペラの2重唱の中でもおそらく最も天心らん漫な「パパパの2重唱」を歌って早くも子供をたくさんつくる相談をしているありさまである。寝がえりを打ったモノスタスが夜の女王の一味を案内してそこへ忍びこみ、クーデターを試みるが失敗に終り、暗黒界に滅び去る。ザラストロが登場し、闇が消えて日が昇り、邪悪は滅びたと告げ、イージス、オジリスの神を賛える大合唱のうちに幕となる（以上第21曲、フィナーレ）。





指揮  
時任 康文



演出  
中村 敬一

1961年、東京生まれ。1980年、山口県立豊浦高等学校卒業。トランペットを三好隆三氏、ピアノを、上野真理氏に師事。1984年、武蔵野音楽大学音楽学部器楽科卒業後、東京音楽大学指揮科に於いて、指揮法を紙谷一衛、汐澤安彦、両氏に師事。音楽理論を、遠藤雅夫、有馬礼子、梶場富美子、各氏に、ピアノを岩津章子氏に師事。1989年卒業、1991年、同研究科修了。

在学中より二期会、日生劇場を中心にアシスタントコンダクターを務め、1990年『東京の夏』音楽祭に於いて、カールマンのオペレッタ「チャールダッシュの女王」を指揮してデビュー。その後、「フィガロの結婚」「椿姫」「蝶々夫人」「カルメン」「ヘンゼルとグレーテル」「夕鶴」等を指揮した。これまでに、東京交響楽団、新日本フィルハーモニー、新星日本交響楽団、東京シティ・フィルハーモニー等と共演し好評を博す。

現在、二期会合唱団指揮者、東響コーラス指揮者、東京音楽大学オペラ科指揮者。

東京生まれ。はじめ声楽家を志し、武蔵野音楽大学、同大学院で学ぶ。在学中、同大学公演では、「フィガロの結婚」の伯爵等を演じる。卒業後、舞台監督集団〈ザ・スタッフ〉でオペラスタッフとして活躍。以降、鈴木敬介、栗山昌良、三谷礼二、西澤敬一各氏のアシスタントとして、オペラ研鑽を積む。1989年より1年間、文化庁派遣の在外研修員として、ウィーン国立歌劇場で研修。帰国後、「リメイク版フィガロの結婚」、二期会デビューの「ドン・ジョヴァンニ」で、高い評価を得、続く「ポッペアの戴冠」では、その演出力の高さが絶賛された。音楽的な視点と豊かな感性による独創的な舞台づくりは、広く認められている。主な演出作品として「オロンテア」「ポッペアの戴冠」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「カイロの鷺鳥」「ヘンゼルとグレーテル」「こうもり」「修道女アンジェリカ」「泥棒とオールドミス」「霊媒」「アマールと夜の訪問者」「電話」などがある。

国立音楽大学講師・日本大学芸術学部講師。



副指揮  
大塚 博



合唱指揮  
田中 浩



合唱指揮  
平尾 嘉克



稽古ピアノ  
大熊 直子



稽古ピアノ  
広門里余子

国立音楽大学にてトロンボーンを伊藤清氏に師事。1976年卒業後、国立北西ドイツ音楽院デトモルトにてトロンボーンをウィリー・ヴァルター氏に師事。オーケストラをマルティン・ステファニーニ、オペラをニクラウス・エッシュバハ、音楽アンサンブルをヨスト・ミヒャエルス、金管アンサンブルをクラウス・ローデンケンブファー各氏に師事。1982年帰国後、岡山、広島にてリサイタル開催。指揮者としては、1985年以来中国二期会にて多数指揮する。1987-91年岡山交響楽団常任指揮者。1987年より岡山パッサ・カンタータ協会指揮者。

現在、中国短期大学音楽科、岡山中学高等学校の各講師。岡山交響楽団顧問、桃太郎少年合唱団音楽顧問、夕なぎコーラス指揮者、日本演奏連盟会員。

岡山大学教育学部音楽科卒業。樹本辰郎、金光武義、近藤安介諸氏に師事。コスモスコーラス、川崎製鉄水島混声合唱団を指揮して、全日本ママさんコーラス大会、全日本合唱コンクールで活躍。第7回倉敷音楽祭でオラトリオ「森の歌」の合唱指揮。岡山県合唱連盟副理事長、倉敷コーラルライネ団長、倉敷男声合唱団指揮者、岡山県立玉島高校勤務。

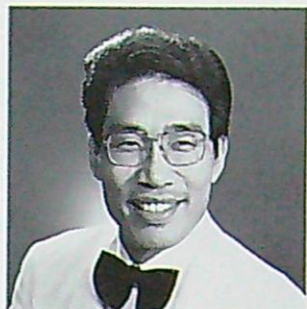
香川大学教育学部卒業。声楽を伊澤宏、轟田義明の各氏に師事。中国二期会準会員。瀬戸内混声合唱団員。現在、倉敷市立万寿小学校教諭。

京都市立堀川高等学校音楽科卒業。愛知県立芸術大学音楽学部器楽（ピアノ）専攻卒業。同大学大学院音楽研究科器楽（ピアノ）専攻修了。

尾形サダ、関藤玲子、竹内美知子、永野美佐子、大塚敦子、ボト・レヘルの各氏に師事。現在、作陽音楽大学、岡山県立短期大学、非常勤講師。岡山演奏家協会、岡山音楽家協会、岡山パッサ・カンタータ協会、中国二期会、ピアニスト。

岡山大学教育学部音楽専攻卒業。ピアノを、日高七重、柳井修の各氏に師事。1992年岡山県新人演奏会出演。桃太郎少年合唱団、妹尾コーollerレーベ、伴奏者。

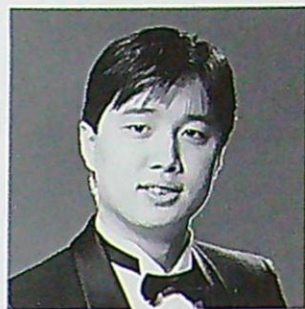




ザラストロ(12・13日)  
大原 正義

国立音楽大学声楽科卒業。益田 通、井上貞一諸氏に師事。ヘンデル「メサイヤ」、ハイドン「天地創造」、フォーレ「レクイエム」、ショスタコービッチ「森の歌」、ベートーベン「第九」のソリスト。オペラでは「ボギーとベス」のクラウン、「ヘンゼルとグレーテル」のペーター、「魔笛」のザラストロ、「フィガロの結婚」のフィガロ、「カルメン」のエスカミーリョ、「泥棒とオールドミス」のボブ、「こもり」のファルケ、「泣いた赤鬼」の青鬼、「ワカヒメ」の前津屋、「夕鶴」の惣と、「仏陀」のスッドダナ王、その他、数多くに出演している。

中国二期会理事長、岡山音楽家協会会員、中国短期大学フラウエンコール指揮者、岡山大学男声合唱団コールロータスヴォイストレーナー、中国短期大学教授、山陽女子高等学校音楽科非常勤講師。



タミーノ(12日)  
平田 孝二  
(客演)

1985年東京芸術大学音楽学部声楽科入学。平野忠彦氏に師事。1988年東京芸術大学定期公演「メサイア」でテノールソロを務める。1989年東京芸術大学卒業演奏会に出演。1990年柴田南雄作曲の新作オペラ「忘れられた少年」の豊臣秀吉、大名役で九州各地の演奏旅行に参加。12月、「三越で第九」のソロを務める。

1991年モーツァルト作曲「コシファントウツテ」にフェランド役で出演。9月、東京芸術大学定期オペラ「魔笛」に僧侶役で出演。10月、東京にて初のジョイントリサイタルを聞く。11月、横浜シティオペラ「フィガロの結婚」にバジリオ役で出演。1992年三木稔作曲の新作オペラ「ワカヒメ」に虚空役で出演。室内歌劇場オペラ「魔笛」出演。

1993年3月、東京芸術大学大学院ソロ科修了。7月、オペラ「ワカヒメ」東京公演に出演。スタジオ平野所属。

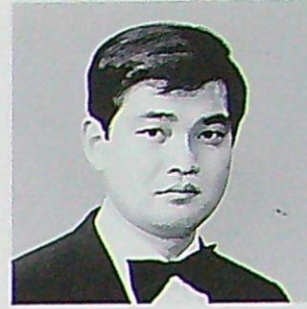


タミーノ(13日)  
北村 敏則  
(客演)

京都市立芸術大学声楽専修卒業、同大学院修了。ウィーン留学。音楽学部賞及び大学院賞を受賞。1988年、第2回J.S.G.日本国際歌曲コンクール第1位。聴衆審査特別賞受賞。1990年、第6回ボルツァーノ歌曲コンクール第1位。アグ・ヴェルバ賞受賞。1992年、第1回青山音楽賞受賞。1993年、第360回京響定期演奏会に出演。1994年、姫路城世界文化遺産指定記念イベント、オペラ「おなつ・清十郎」の主役、清十郎に抜擢される。

国際音楽文化交流として、ドイツ各地での演奏旅行に参加。CD「モーツァルトの世界」を11月に発売予定。

故、E.ヴェルバ、K.エクウィルツ、発声をA.ヴァルター女史の各氏に師事。ウィーン、ヴァイトホーフ、ボルツァーノ等、各地でリサイタルを開催。ラジオにも出演。モーツァルトテノールとして注目される。3回のリサイタルを始め、マラー「大地の歌」、モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」のソロ、バッハ「カンタータ」を始め、ヨハネ(H.リリング指揮による)、マタイ受難曲のエヴァンゲリストとしても高い評価を得ている。佐々木成子、蔵田裕行、各氏に師事。日本シューベルト協会同人。現在、京都市立芸術大学非常勤講師。



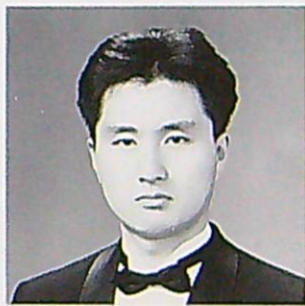
弁者(12・13日)  
田中 雅純  
(四国二期会)

高松市出身。国立音楽大学声楽科卒業。田口典輔、中村義春、大西昇、川田景樹の各氏に師事。四国二期会香川支部でオペラ「ドン・ジョバンニ」「魔笛」「カルメン」「那須与一」「赤い陣羽織」等に、愛媛支部で「コジファン・トゥツテ」、高知支部で「魔笛」等に出演。モーツァルトの「レクイエム」フォーレの「レクイエム」にソロで出演。現在、香川短期大学講師。四国二期会会員。



僧侶I(12・13日)  
渡邊 均

岡山大学教育学部卒業、広島大学大学院学校教育研究科修了。声楽を野上義臣、日高好一、佐藤農の諸氏に師事。演奏活動としては、中国二期会のオペラ「海へのりゆく者たち」のパートレイ役で出演。グループ・ピスティル、岡山少年少女合唱団、岡山混声合唱団の演奏会に客演。グループ・ピスティルのオペラ「魔笛」ではタミーノを演じる。また、岡山バッハ・カンタータ協会に発足時より参加。1994年、岡山と東京公演では、テノール・ソロを担当。現在、岡山市立足守中学校教諭。



僧侶II(12・13日)  
川西 顕

作陽音楽大学音楽学部音楽学科声楽専攻卒業。蓮井求道、今西三典、田原祥一郎、大原正義の諸氏に師事。同大学内卒業演奏会出演。

「バリトンとピアノによるジョイントリサイタル」開催、福山文化連盟洋楽部主催、国際親善コンサート「でんでんむしフェスタ」出演。



夜の女王(12日)  
安原裕美子

広島大学教育学部音楽科卒業、東京学芸大学大学院音楽教育専攻(声楽)修了、二期会オペラスタジオ第33期修了。矢部礼子、日比啓子、矢田部義弘、高橋修一、岡崎順子の諸氏に師事。岡山演奏家協会・中国二期会主催のコンサート他、東京・福山においてコンサートに出演。オペラは「運命の力」で初舞台をふみ、「ヘンゼルとグレーテル」の露の精、「ワカヒメ」の笠臣女房を演ずる。また岡山市こどもまつりへの出演やオペラ「夕鶴」の合唱指導を受け持つなど、後進の指導にもあたっている。

現在、岡山演奏家協会会員、岡山バッハ・カンタータ協会会員、岡山少年少女合唱団副団長。



夜の女王(13日)  
中川しのぶ

'83広島大学教育学部音楽科卒業。'84同専攻科修了。'84-'91、4回のソロ・ソプラノリサイタル開催。その他、ママさんコーラスの指導、多数のコンサート等に出演。声楽を西尾優、矢田部義弘、日比啓子、林裕美子の諸氏に師事。



パミーナ (12日)  
高橋 昌子

愛知県立芸術大学卒業、同大学院修了。矢部礼子、小島琢磨、R、リッチ、東敦子、西内玲の諸氏に師事。イタリア国立ヴェルディ音楽院に留学。L. グアリーニ氏に師事。桑原賞(愛知県知事賞)を受賞。第21回日伊音楽コンクール第1位。外務大臣賞、文部大臣賞等受賞。日本演奏連盟賞受賞。NHK洋楽オーディション合格。

1990年津山国際総合音楽祭で「魔笛」のパミーナを演じたほか、「あまんじゃくとうりこひめ」のうりこひめ、「秘密の結婚」のカロリーナ、「リゴレット」のシルダ等で出演。1991年サンノゼ市大聖堂にてモーツァルト「レクイエム」のソプラノソロを務めた。1992年オペラ「ワカヒメ」ではタイトルロールを歌い好評を得た。現在、岡山大学教育学部講師、日伊音楽協会会員。



パミーナ (13日)  
大森 友子

東京声専音楽学校教員養成科卒業。同オペラ研究科修了。井上清光、坂元陽子、古賀恵美子、矢部礼子、依田喜美子、の諸氏に師事。

岡山演奏家協会主催、フレッシュコンサート、クリスマスチャリティーコンサート。倉敷音楽協会主催、アイビスクエアーサマーコンサート、20周年記念コンサートにおいて、倉敷管弦楽団と協演。

中国二期会主催「日本歌曲の夕べ」20周年記念ガラコンサートに出演、オペラでは「泣いた赤鬼」のナレーター役を演じる。

現在、岡山演奏家協会会員、就実学園非常勤講師。



侍女I (12日)  
神野 靖子

国立音楽大学声楽学科卒業。別所恵子氏に師事。中国二期会主催「歌曲の夕べ」(93) ドゥース・フルール主催サマーヴォーカルコンサート、「ドイツ歌曲の夕べ、星野明子とともに」に出演。その他「備後新進演奏家の夕べ」、国立音楽大学卒業生による演奏会、渡辺誠氏(CI)と「ジョイント・リサイタル」(91)等に出演。現在、府中高等学校非常勤講師、福山音楽学院講師、あじさい合唱団指揮者、福山YMCA コール・ローゼ、女声アンサンブルドゥース・フルール所属。



侍女I (13日)  
山脇 恵子

国立音楽大学声楽科卒業。故田中伸枝、田原祥一郎の諸氏に師事。同大学卒業演奏会出演。第7回「備後新進演奏家の夕べ」、第1回「尾道新人演奏会」に出演。オペラでは中国二期会オペラ公演にて「カルメン」のミカエラ役でデビュー。続いて「こうもり」のロザリンデ役で出演。福山市芸術祭オペラ「蝶々夫人」に主役蝶々夫人で出演。その他二期会の公演に多数出演。合唱ソロではヘンデル「メサイア」、ベートーヴェン「第九」、モーツァルト「レクイエム」等に出演。



侍女II (12日)  
矢内 淑子

国立音楽大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修了。同音楽研究所研修生として更に研鑽を重ねる。石田徹、井上貞一、故西内静、故木下武久、西内玲の諸氏に師事。

これまでのオペラ活動としては、「パステリアンとパステリアン」のバステリアン、「魔笛」の侍女、「フィガロの結婚」のマルチェリーナ、「コシ・ファン・トゥッテ」のドラベラ、「ヘンゼルとグレーテル」の魔女、「マープラ」の母、「海の子守唄」の老女、「おこんじょうり」のはばさま、「うかれひょう六機織唄」の母、「ワカヒメ」のかつらぎ等の役で出演。その他アルトソリストとしバハのカンタータ、ヘンデルの「メサイア」等数多くの演奏会に出演。

'94年6月には高田三郎作品集リサイタルを開くなど意欲的な活動を続けている。現在、旭川短期大学音楽科非常勤講師、川崎医療福祉短期大学非常勤講師、中国二期会、岡山音楽家協会、岡山演奏家協会、岡山パッハカンタータ協会会員、瀬戸内混声合唱団指揮者、旭川荘のずり業合唱団指揮者。



侍女II (13日)  
加治 郷子

東京音楽大学声楽科卒業、矢部礼子、佐々木英代、加納純子、木下武久、西内玲、V、レニツケの諸氏に師事。ムジカドンネ、コンサートアマカ、ヴォーチェブーレ、二期会主催の演奏会等に出演。'90年にはソロリサイタルを開催する。オペラでは「魔笛」の童子IIで中国二期会にデビューし、「フィガロの結婚」、「カルメン」、「こうもり」、岡山シンフォニーホール開館記念オペラ「ワカヒメ」等に出演。'88年より作陽音大オペラマイスタークラスに所属し、「コシ・ファン・トゥッテ」のドラベラ、「ボエム」のムゼッタ、「バラの騎士」のオクタビアン、「カルメン」のカルメン等の役を演じる。第3回津山音楽祭では「皇帝ティトの慈悲」(原語上演)にセスト役で出演する。現在、岡山城東高校非常勤講師、作陽音楽大学オペラマイスタークラス準研究員、岡山音楽家協会会員。



侍女III (12日)  
小松原知代子

国立音楽大学声楽科卒業。矢部礼子、井上敦子、依田喜美子の諸氏に師事。国立音楽大学同調会フレッシュコンサート、岡山県新人演奏会、岡山演奏家協会フレッシュコンサート、チャリティーコンサート、中国二期会主催「日本歌曲の夕べ」等の演奏会に出演。現在、山陽女子高等学校音楽科講師、岡山演奏家協会会員、岡山ピアノ声楽研究会員。



侍女III (13日)  
虫明 和子

京都市立芸術大学音楽学部声楽科卒業。金光武義、矢部礼子、井上敦子、植田治男、鳥井晴子、佐々木成子、(故)河本喜介の諸氏に師事。モーツァルトフェム夏期ゼミナールでは、R、ミラー氏に師事。G、シミアナートクラス受講。バリエコールノルエル音楽院留学、フランス音楽コンクール日仏協会賞受賞、リサイタル、ジョイントリサイタルをはじめ「第九」、「カルミナブラーナ」、「メサイア」等のソリスト、オペラでは「アマールと夜の訪問者」、「ボギーとベス」、「魔笛」、「温羅の砦」、「泥棒とオールドミス」、「蝶々夫人」、「ワカヒメ」等に出演。その他様々なコンサートに客演。現在、山陽女子高校音楽科講師、中国短期大学音楽科非常勤講師。



童子Ⅰ (12・13日)  
岡野 恭子

岡山県出身。私立就実高等学校卒業。1993年3月作陽音楽大学音楽学科声楽専攻卒業。1993年3月作陽音楽大学卒業演奏会。1993年5月第26回岡山県新人演奏会。1993年10月TSC作陽音大オーケストラコンサート'93出演。  
岡崎順子、菅谷省三の各氏に師事。



童子Ⅱ (12・13日)  
康広美千子

中国短期大学音楽科卒業。東京学芸大学教育学部特設音楽課程卒業。黒岩典枝、野崎幹子、中村義春、阿部容子、故木下武久の諸氏に師事。

1978年ウィーン国際音楽セミナーにて声楽をH・レッセル＝マイタンに、ドイツ歌曲をE・ウェルバに師事。

「フィガロの結婚」のバルバリーナ、花娘、「海へ乗り行く者たち」のキャスリン、「蝶々夫人」のケートに出演。1984年、1990年ジョイントリサイタル開催。GroupD・EIGHT、黒つぐみ、その他の演奏会に出演。現在、コール・ソングフォーグラナ、すみれコーラス、津高公民館合唱講座指揮者。おかやまこどもミュージカル声楽指導スタッフ。ヴォーカルグループ黒つぐみ会員。



童子Ⅲ (12・13日)  
塩出 真弓

福山市立女子短期大学生生活学科生活教養(声楽)専攻卒業。

平松弘子氏に師事。同短期大学学外研究発表会。'94中国二期会設立20周年記念ガラコンサート、「94中国新聞主催「ご入学おめでとう大会」」、「94ドゥース・フルール主催サマー・ヴォーカルコンサート「マザー・グースの歌」等」に出演。現在、福山楽器センター講師。ドゥース・フルール所屬。



パパゲーナ (12日)  
清水 史子

'84 作陽音楽大学音楽学部声楽専攻入学。田原祥一郎、西内玲、山脇恵子の諸氏に師事。同大学卒業演奏会出演。作陽音楽大学オペラマイスタークラスによる、オペラ「ドン・ジョヴァンニ」「コシ・ファン・トゥッテ」に参加出演。

'92 ジョイントコンサート開催。  
'94 中国二期会設立20周年記念ガラコンサート出演。現在、福山市立福山高等学校非常勤講師。



パパゲーナ (13日)  
岡崎 順子

岡山大学教育学部音楽専攻卒業。愛知県立芸術大学大学院修了。金光武義、矢部礼子、井上敦子、小島琢磨、中山第一、故木下武久、リタ・シュトライト、H、クレッチマルクの諸氏に師事。パッハ「クリスマス・オラトリオ」や、モーツァルト「レクイエム」のソプラノ・ソロ等のコンサート活動のほか、これまでに6回のリサイタルを開催する。オペラでは、「フィガロの結婚」のスザンナ、「コシ・ファン・トゥッテ」のデスビーナ、「魔笛」のパパゲーナ、「カルメン」のミカエラ、「ワカヒメ」のクスヒメ、「夕鶴」のつう等を演じる。現在、岡山県立短期大学部助教授。日本演奏連盟、岡山パッハ・カンタータ協会各会員。



パパゲーノ (12日)  
三木 伸哉  
(客演)

東京芸術大学卒業。中野勝美、中村義春、平野忠彦の各氏に師事。

香川県新人演奏会、モーツァルトの夕べ、大田区ガラ・コンサート、新宿文化センター・ジョイント・リサイタルに出演。

「魔笛」のパパゲーノでオペラデビュー。'92年7月、12月もパパゲーノ役で出演。雑誌「音楽の友」、NHKラジオに於いて好評を得る。



パパゲーノ (13日)  
伊藤 正  
(関西二期会)

大阪音楽大学声楽科卒業、同大学院オペラ科修了。58年よりイタリア・ミラノに留学。ヴェルディ音楽院修了。61年帰国。57年度、文化庁芸術家国内研修員、59年度ロータリー奨学生。

オペラでは、57年9月九州オペラフェスティバルの「コシ・ファン・トゥッテ」のグリエルモ役でデビュー。在伊中、パッハ、ヘンデル生誕300年記念コンサートにおいてカンタータソロおよび、メサイアのソロに出演の他、ミラノグローヴォテレビ制作の「フィガロの結婚」のフィガロに出演。

帰国後「フィガロの結婚」「ヘンゼルとグレーテル」に出演。また第九、レクイエムのソロの他、フラメンコのソロ・カンタンテなど、幅広い活躍をしている。関西二期会会員。



モノスタトス (12・13日)  
晴 雅彦  
(関西二期会)

1989年大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。卒業演奏会出演。オペラ「蝶々夫人」の五郎役でデビュー。「アマールと夜の訪問者」のメルヒオール王、「コシ・ファン・トゥッテ」のグリエルモ、「魔笛」のパパゲーノ等に出演。

関西フィルハーモニー管弦楽団と共演。ロッシーニ・ミサソレムニス(韓国公演)、モーツァルト・ミサプレビスにバスソリストとして出演。

第3回和歌山音楽コンクール声楽部門一般の部第1位。

谷川勝巳、安則雄馬、横田浩和、ワルター・モーア、エルスペース・ブレイン、ブルーノ・デル・モンテの各氏に師事。



## 倉敷管弦楽団

「美しい音色と良いアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に昭和49年設立の倉敷管弦楽団は、文化都市倉敷にふさわしい若さと熱気に満ちた楽団です。バロックから現代曲までの幅広い演奏活動で昭和57年には岡山県文化功労賞、昭和60年には倉敷文化連盟賞を受賞し、将来を大きく期待されています。

定期演奏会では早川正昭氏、フォルカー・レニッケ氏、堤俊作氏、古谷誠一氏、湯浅卓雄氏、金洪才氏、佐渡裕氏、星出豊氏、田中一嘉氏、田中良和氏、小出雄聖氏ら各地で活躍中の指揮者を客演指揮者として招き、またフルートの世界的巨匠ジャン・ピエール・ランバル氏との共演をはじめ、ヴァイオリンの和波隆禧氏、前橋汀子氏、豊田弓乃氏、景山誠治氏、漆原啓子氏、ピアノの深沢亮子氏、伊藤恵氏、チェロの岩崎洗氏、安田謙一郎氏、山崎伸子氏、オーボエのディーテルム・ヨーナス氏、トランペットの津堅直弘氏、ギターの福田進一氏、又岡山県内で活躍中の音楽家達との共演や、團伊玖磨氏作曲の「管弦楽のための高梁川」の初演、創立10周年記念の400名から成る第九演奏会、オペラではモーツァルトの「魔笛」、「フィガロの結婚」、「コシ・ファン・トゥッテ」、ビゼーの「カルメン」、J. シュトラウスの「こうもり」、フンパーティンクの「ヘンゼルとグレーテル」、プッチーニの「蝶々夫人」等数多くの舞台をうけもっている。又15周年を記念して「三枝成彰with倉敷管弦楽団スーパードリーム・ジョイントコンサート」を行ない、倉敷音楽祭では、瀬戸大橋開通を記念して小六禮次郎氏作曲の交響詩「瀬戸内賛歌」の発表、ミュージカル「11匹のネコ」、総勢430名からなるシオスタコーヴィッチのオラトリオ「森の歌」を大成功におさめるなど、多彩な演奏活動を続けています。

### ●第1ヴァイオリン

佐藤真理子  
阿曾沼 和代  
飽浦 良和  
稲田 真理  
岩瀬 裕子  
岡崎 良弘  
鳥居ゆかり  
中桐佐知子  
三宅美智子  
森江 章恵  
家守 智子

### ●第2ヴァイオリン

樽谷 美幸  
大村 奈美  
菊池 東  
越宗 宣子  
陶山 容良  
諏訪 尚美  
福田みどり  
古川あゆみ  
丸山 博樹

### ●ヴィオラ

八木原 周平  
久磨 晶子  
須藤 京子  
武本 克巳  
友野 良一  
新見 由枝

### ●チェロ

光延 勢吾  
石川 恵子  
黒田 正典  
田辺 幹夫  
水田 年紀

### ●コントラバス

本屋敷 勝信  
難波 由宏  
山口 里志

### ●フルート

坂口 充倫  
藤澤 桂子

### ●オーボエ

細美 肇  
佐口 康晴

### ●クラリネット

児玉 史子  
松本美和子

### ●ファゴット

稲田 裕彦  
木村 峰子

### ●ホルン

文谷 功  
小山 紀章

### ●トランペット

原田 宗範  
山口 裕司

### ●トロンボーン

公盛 裕康  
松尾 浩寿  
光井 伸行

### ●ティンパニ

影下 明子



## 倉敷市芸文館一周年記念合唱団

### テノール

田辺 省二 (倉敷男声合唱団)  
 馬場 修 ( " )  
 池田 進一 ( " )  
 中尾 純 ( " )  
 西 功 ( " )  
 明神 宜生 ( " )  
 横地 達夫 ( " )  
 宇野 宏造 ( " )  
 平尾 嘉克 (瀬戸内混声合唱団)  
 畠山 裕二 ( " )  
 山本 勝 ( " )  
 中埜 幸弘 ( " )

### ソプラノ

坂元 陽子 (同調会)  
 出口 裕子 ( " )  
 桑原 直美 ( " )  
 赤沢 光恵 ( " )  
 山本まさみ (瀬戸内混声合唱団)  
 片山 英子 ( " )  
 山坂 敏美 ( " )  
 田邊 記子 ( " )  
 橋本 和子 (コールクライネ)  
 山脇 和代 ( " )  
 片沼 愛希  
 磯崎美保子 (ゆう)  
 原田香代子 (コールフローラ)  
 高田 香 ( " )

### ベース

秋山 宗三 (倉敷男声合唱団)  
 天本 隆士 ( " )  
 飯田 永久 ( " )  
 出羽 修二 ( " )  
 岡崎 彰徳 ( " )  
 加来 尚 ( " )  
 辻 一雄 ( " )  
 森脇 英樹 ( " )  
 山田 正人 ( " )  
 阿左見 和夫 ( " )  
 伊原 明芳 ( " )  
 織田 友和 ( " )  
 茅原 隆之 ( " )  
 難波 寛志 ( " )  
 原田 一郎 ( " )  
 山岸 幸夫 ( " )  
 北尾 真和 (倉敷市民合唱団)  
 西原 義郎 (瀬戸内混声合唱団)

### アルト

大原久央子 (同調会)  
 長尾 節子 ( " )  
 北村 暁美 ( " )  
 井上香代子 (コールクライネ)  
 大内 美香 ( " )  
 平田 智子 (瀬戸内混声合唱団)  
 清板佳代子 ( " )  
 福田 修子 ( " )  
 戸叶 久子 (コールフローラ)  
 守時 浩美 (コールファミリーユ)  
 栗田 桂子 (コスモス)

# 中国二期会会員名簿

顧問 糸賀 英憲  
近藤 安介  
理事長 大原 正義  
副理事長 平本 弘子  
理事 岡崎 順子  
" 虫明 和子  
" 矢内 淑子  
" 浜崎 明美  
" 山脇 恵子

## ■ソプラノ

正会員 虫明 和子 (岡山)  
平本 弘子 (広島)  
萱岡美津栄 (岡山)  
浜崎 明美 (岡山)  
岡崎 順子 (岡山)  
中野 良子 (岡山)  
宗盛ゆきみ (広島)  
山脇 恵子 (広島)  
高橋 昌子 (岡山)  
土井 範江 (広島)  
康広美千子 (岡山)  
大森 友子 (岡山)  
準会員 神原久美子 (広島)  
北川 純子 (岡山)  
松本 弘美 (岡山)  
梅原 千世 (岡山)  
長安 信子 (広島)  
中川しのぶ (広島)  
慶児 道代 (岡山)  
藤井 恵子 (岡山)  
柴田久美子 (岡山)  
神野 靖子 (広島)  
平田佐和子 (広島)  
桑原 直美 (岡山)

安原裕美子 (岡山)  
窪田 陽子 (岡山)  
十場 智子 (岡山)  
鈴木 恒美 (広島)  
塩出 真弓 (広島)  
清水 史子 (広島)  
山尾真智子 (岡山)  
勇木 沢美 (広島)  
太田美智子 (岡山)  
岡野 恭子 (岡山)  
寺戸 玲子 (広島)  
青木 裕里 (広島)

## ■メゾソプラノ・アルト

正会員 矢内 淑子 (岡山)  
加治 郷子 (岡山)  
藤井 美雪 (広島)  
準会員 藤岡 明美 (岡山)  
脇本 恵子 (岡山)  
黒川 泉 (広島)  
小松原知代子 (岡山)  
竹内千佳子 (広島)

## ■テノール

正会員 柳井 弘文 (広島)  
準会員 渡邊 均 (岡山)  
平尾 嘉克 (岡山)

## ■バリトン・バス

正会員 大原 正義 (岡山)  
準会員 藤本 政志 (広島)  
川西 顕 (広島)


## ■事務局

王垣夫規子  
川内 浩美

夢のある保育環境を創る

遊園地・児童公園設計施工 幼児用教材  
体育器具 保育園・幼稚園・学校関係備品



 (株) タカトリ

代表取締役 井上 健 司

本社・工場/〒701-01 倉敷市二子327番地  
TEL.(086)462-7070(代)  
FAX.(086)462-7042

“ありがとう”の言葉を大切にしたい店

—— お客様の喜び…それが私達の喜びです ——

電気製品の御相談は

株式会社

難 波 電 機 店

本店・小溝 ☎465-3076(代)

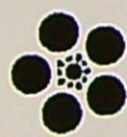
## 宝石産地タイ、スリランカ直行便

サンゴ、ベッ甲、真珠、ダイヤ、エメラルド、金製品、その他貴金属全般



倉敷市阿知2丁目435-1(エトワール21ビル1F) TEL(086)421-3135  
フリーダイヤル0120-213135

■営業時間/AM10:00~PM6:00



寿し・幕の内弁当  
折詰・会席膳

# 有限会社 山崎食品

岡山市西市146-11 ☎(086)243-5678

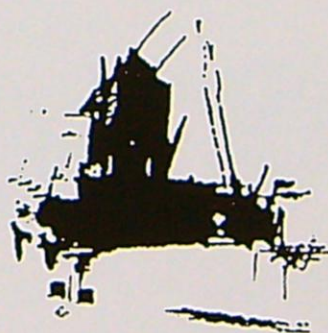
福山市草戸4丁目11-9 ☎(0849)23-5150



# 山脇酸素株式会社

本 社	尾道市山波町3038の3 TEL (0848)46-1133 FAX (0848)46-2516
高圧ガス 工 場	尾道市長者原2-165-31 TEL (0848)48-4333

ピアノ調律・修理・販売



文部省許可 公益社団法人 日本ピアノ調律師協会会員

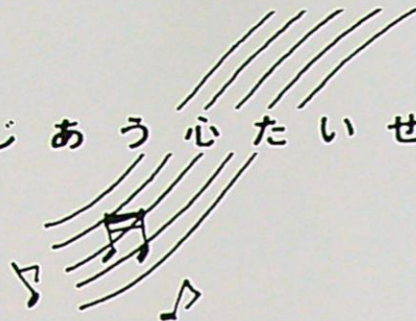
## 窪ピアノ調律所

調律師 窪 秀隆

岡山市牟佐1084-1 TEL(086)229-3051

- ★古いピアノの再生をいたします。
- ★不要のピアノの買取りも致します

感じあう心たいせつに



feelin' **YAMAHA**

- ピアノ・エレクトーン・管、弦、打楽器・その他各種和洋楽器販売
- ヤマハ音楽教室・ヤマハ英語教室・ピアノ、エレクトーン教室
- 音楽ホールとLMスタジオのレンタル
- 調律・修理・移動

お申し込み・お問い合わせは ヤマハ特約店

**中国楽器**

☎(0866)93-4000  
☎(08669)92-0225<sup>FAX</sup>  
■営業時間AM9:30~PM7:30  
総社市駅前(駐車場有)

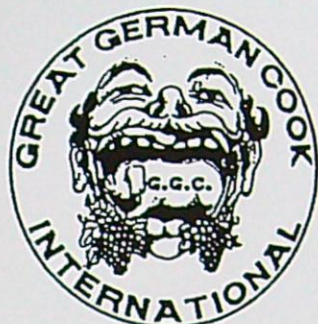
**友野印刷株式会社**

〒700 岡山市高柳西町1-23 ☎(086)255-1101  
FAX(086)253-2965

# 今宵はどちらのG.G.C.?

本格的ビアホール**ペルケオ**で豪快に

サービスメニュー AM12:00~PM4:00  
580円~880円  
(スープ、コーヒー、サラダ付)



気軽に立ち寄れるビアレストラン **ドイツ・パブ**

ペルケオ

(OPEN 12:00PM~11:30AM CLOSE)

岡山市幸町7-20 アクタスビルB1F TEL 234-8007

G.G.C.ドイツ・パブ

(OPEN 5:00PM~ 2:00AM CLOSE)

岡山市表町3丁目6-21 TEL 233-5865

**KAWAGUCHI**  
WORLD FAMOUS *Audio*

〒700 岡山市野田3-22-17 TEL.(086)244-3748



中国二期会

'94